



E-Communication partner

KINKAN GROUP

2015

人と地球にいいコミュニケーションパートナー



CSR 報告書 2015

【目次】

01. トップメッセージ

02. グループ概要

基本理念

環境経営へのベースライン

03. 環境マネジメントシステム(EMS)

05. 環境マネジメントへの取り組み

環境・社会活動の推進

11. 自然環境

14. 地域環境

17. 教育

19. 労働環境

21. 福祉

事業内容の強化

22. 体系的な事業内容

23. 物流部門

効率的な運搬車輛

25. 先進的な施設・設備

29. 第三者意見

30. 沿革、CSR活動のあゆみ

受賞歴

【報告対象期間】

2014年度(2014年5月1日~2015年4月30日)

※関連する報告で一部この期間が前後している場合もあります。

【報告対象組織】

KINKANグループ全社(4社)

【発行】2015年10月

【トップメッセージ】

近畿環境保全株式会社
代表取締役社長

株式会社湖南リサイクルセンター
代表取締役社長

西村忠浩



昨年まで「環境報告書」として発行しておりましたこの冊子も、2015年度版から「CSR報告書」として、再出発させていただき運びとなりました。毎年の事になりますが、関係各位の皆様にはまず感謝申し上げる次第であります。

基本コンセプトは、スタート当初から変わらず、スタッフの手作り感で皆様に読んでもらいやすい紙面作りを心掛けてきました。そういう意味では、今年のデザインも手に取ってもらいやすいのではないかと考えております。

また、CSR報告書とバージョンアップしたからには、環境という側面だけではなく、私たちの社会的責任を明確にし、お客様や取引先、スタッフやそのご家族まで、多くのステークホルダーにその取り組みをお伝えする手法として、この報告書を活用してまいります。特にコンプライアンスが求められるこの業界だからこそ、その意味を理解し、法順守は当たり前として、スタッフひとりひとりの倫理道徳といった人間性をより磨き、皆様に必要とされ、頼られる企業に成長していけるよう、更に努力を積み重ねていくことをお約束いたします。

私たちキンカングループは、地域に生かされていることに感謝し、また地域の環境インフラという立場で、安心安全なサービスを提供し続け、地域の自然環境や生活環境の負荷をより軽減出来る新しい価値観をもって、次世代へこの地域を、この地球をつないでいけるよう、変化を恐れずに進んでまいります。

最後に、この報告書を手にとりいただいたすべての皆様のご健康ご多幸を祈念するとともに、今後ますますのご支援ご協力をお願い致しまして、挨拶に代えさせていただきます。

KINKAN グループは環境サービス全般を通して 循環型社会の構築のため日々活動しています。

【グループ概要】

【会社名】 近畿環境保全株式会社(会社設立 1975年6月11日)
 【代表者】 代表取締役社長 西村 忠浩
 【資本金】 1,600万円
 【所在地】 本社/〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地

【会社名】 株式会社湖南リサイクルセンター(会社設立 2001年3月22日)
 【代表者】 代表取締役 西村 忠浩、代表取締役 西村 美代子
 【資本金】 1,000万円
 【所在地】 本社/〒520-3114 滋賀県湖南市石部口三丁目6番13号

【会社名】 株式会社きぶら(会社設立 2008年4月1日)
 【代表者】 代表取締役 西村 忠浩
 【資本金】 100万円
 【所在地】 本社/〒520-3114 滋賀県湖南市石部口三丁目6番13号

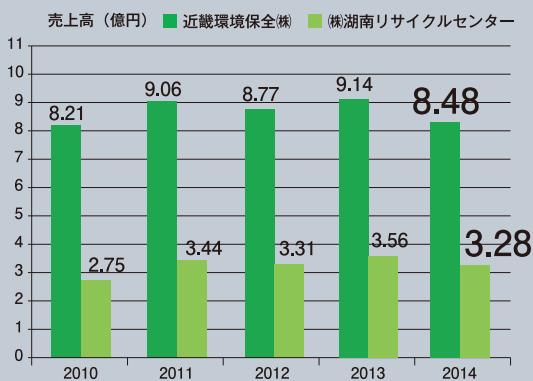
【会社名】 有限会社ラゴ(会社設立 2005年1月12日)
 【代表者】 代表取締役 西村 美代子
 【資本金】 300万円
 【所在地】 本社/〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地

【URL】 <http://www.kin-kan.co.jp>

【業務内容】

産業廃棄物中間処理業 一般廃棄物中間処理業
 産業廃棄物収集運搬業 一般廃棄物収集運搬業
 特別管理産業廃棄物収集運搬業
 資源物再生事業/建設解体業/リフォーム・外構工事
 環境機器販売/廃棄物全般のコンサルタント業務

【基本理念】



この気持ちを
 スタッフ全員が心に刻み、
 積極的に挑戦していく
 グループであり続けます。

環境経営へのベースライン

当グループは事業を行うことにより、環境や社会へ影響を与えています。環境問題への取り組みだけではなく、地域社会および福祉への貢献、良い労働環境作り、教育への努力が当グループの責任となっています。安心安全な作業を行いながら、コンプライアンスおよび環境マネジメントシステムを元に、様々な取り組みにより社会的責任を果たすよう努めています。当報告書でその取り組みを紹介させていただきます。

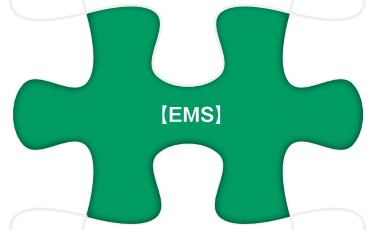


【スタッフコメント】
営業部・環境事業部 統括部長
西村 篤

当グループの行動の指針が3Kをはじめとした基本理念やEMSです。企画を立案したり、物事を進める中で、基本の軸を再認識できることは有難いです。スタッフ一同、毎朝朝礼で唱和することで、想いを共有できることが、ブレずに真っ直ぐ事業活動ができる強みです。

【EMS】

環境マネジメントシステム



当グループは、資源リサイクルと廃棄物の収集運搬及び中間処理業を3本柱とし、適正な再資源化、処理を通じて、循環型社会の構築に努めます。

人と地球に“いい” コミュニケーションパートナー

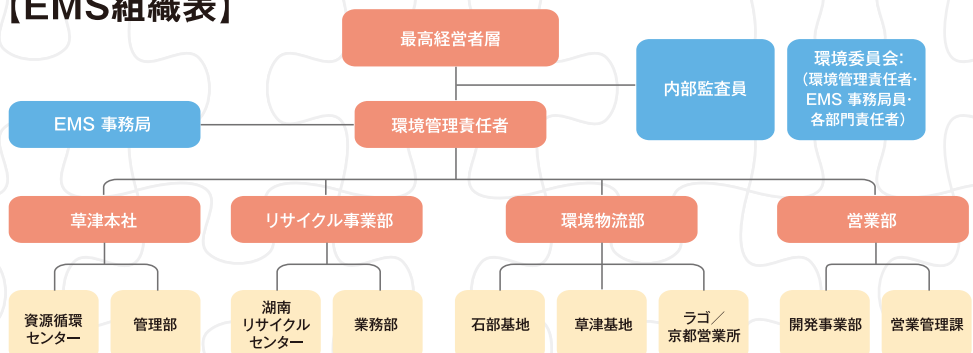
かけがえない地球を大切にしたい。
そんな思いを実現するためにKINKANグループは
環境に配慮した経営を目指します。

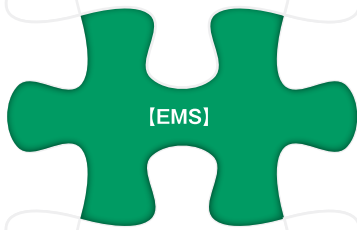


-
- 1** 廃棄物を資源と認識し、適正に再資源化、再利用、再生利用、処理することに努めます。
- ① 資源の有効利用と、社内から出る廃棄物の分別及び再資源化に努めます。
 - ② 中間処理後産業廃棄物のリサイクル率向上に努めます。
 - ③ 地域に根ざした環境事業の推進で、地域社会への貢献に努めます。
- 2** 環境関連法規制・条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 3** 事業活動から生じる環境負荷を低減するため、具体的環境目的・目標を定め、環境マネジメントシステムを継続的に改善することにより、環境汚染の予防に努め、環境保全活動を推進します。
- 4** 全構成員が、環境保全事業に従事する自覚を持ち、常に環境に配慮した行動を心がけるよう周知し、環境に関する教育及び啓蒙を行います。
- 5** 本方針を実行し、維持し文書化して、全構成員に周知徹底するとともに、社外にも情報開示します。

2005年9月6日 現在

【EMS組織表】





[環境マネジメントへの取り組み]

コンプライアンス

安心・安全への取り組み

法規制の遵守

事業者の産業廃棄物はその事業者自らが処理しなければならない原則がありますが、処理ができない場合は、廃棄物処理業者に委託することが出来ます。

当グループは排出事業者の皆さまから、収集運搬と処分を委託して頂きます。様々な地域における収集運搬業許可と処分業許可を取得し、法を遵守した適正処理を行っている上、マニフェストによって廃棄物の流れを最初から最後まで管理しています。

【スタッフコメント】 コンプライアンス室

室長 永戸 浩一

法的要求事項の順守や振動騒音等の基準値もクリアできています。目的の数値目標は達成できなかった部分がありました。これには営業部が主体となり意識改革を行い、多種多様な情報発信媒体を活用し目標達成に努めていきたいと考えております。混合廃棄物を土間選別で有価物の回収を行うことにより廃棄物の減量化を進め又事業の利益を生み出すことにつながるため継続して取り組んでいきたいと思っております。



法律・条例 一覧(五十音順)

- 悪臭防止法
- 各種リサイクル法
- 火災予防条例
- 揮発油等品質確保法
- 計量法
- 建設業法
- 個人情報保護法及び
滋賀県個人情報保護条例
- 湖南省環境基本条例
- 滋賀県ごみの
散乱防止に関する条例
- 滋賀県生活排水対策の
推進に関する条例
- 消防法
- 浄化槽法
- 振動規制法
- 人権教育及び人権啓発の
推進に関する法律及び
滋賀県人権尊重の
社会づくり条例
- 石綿障害予防規則
- 騒音規制法
- 男女雇用機会均等法
- 電気事業法
- 道路運送車輛法
- 道路交通法
- 同和対策特別処置法
- NOx・PM法
- 廃棄物の処理及び
清掃に関する法律
- フロン回収破壊法
- 暴力団等排除条例
- 労働安全衛生法

順守確認日
2015年2月1日

評価:
すべて順守

当グループでは、廃棄物の処理の際に発生する、騒音・振動・臭気に対して、騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法の基準以下となるよう環境への負担を軽減する努力を重ねています。又、水質汚濁防止法の特定施設には該当していませんが、自主的に水質も測定しています。(参考データ：2014年5月29日実施)

騒音レベルと振動レベルの調査結果と評価

騒音と振動のレベルに関する調査を毎年一回当グループの2社にて行います。2014年度の調査結果によれば、実際の騒音レベルと振動レベルは規制基準値以下でした。

騒音レベル	株湖南リサイクルセンター	近畿環境保全㈱
規制基準	70dB	65dB
調査結果 (場所/No1)	54dB	57dB
(場所/No2)	48dB	55dB
評価	○	○

振動レベル	株湖南リサイクルセンター	近畿環境保全㈱
規制基準	70db	65dB
調査結果 (場所/No1)	54dB	57dB
(場所/No2)	48dB	55dB
評価	○	○

臭気測定の結果と評価

臭気レベルに関する調査の結果は、規制基準値以下でした。

臭気レベル	株湖南リサイクルセンター	近畿環境保全㈱
規制基準	敷地境界線14	12
試験の結果(臭気指数)(場所/No1)	10以下	10以下
(場所/No2)	10以下	10以下
評価	○	○

水質

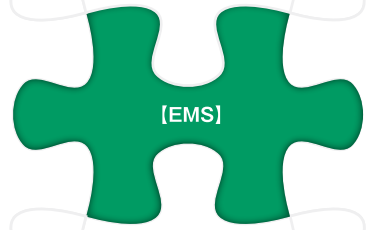
放流水に関してもデータ管理を行っており、年一回水質に関する調査を自主的に実施しています。

計量対象項目	単位	計量の結果		計量の方法
		株湖南リサイクルセンター	近畿環境保全㈱	
ルルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満(↓)	0.5未満(↓)	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数(デゾ法)※	個/m ³	14(↑)	150(↓)	厚生省・建設省令第1号
水素イオン濃度		6.9(↓)	7.1(↑)	JIS K0102 12.1
(pH測定時試料温度 ※)	℃	23.1(↑)	22.9(↑)	JIS K0102 7.2
浮遊物質	mg/L	4.2(↓)	11.2(↓)	環境庁告示第59号付表
化学的酸素要求量	mg/L	3.5(↑)	7.5(↓)	JIS K0102 17
生物化学的酸素要求量	mg/L	4(↓)	10(↓)	JIS K0102 21及び32.3
燐含有量	mg/L	0.1未満(-)	0.1(↓)	JIS K0102 46.3
窒素含有量	mg/L	0.5(↑)	1.2(↑)	JIS K0102 45.2

※印項目は、計量証明対象外項目です。()は昨年度と比較。

事業エリア

安心・安全な収集運搬および中間処理



[環境マネジメントへの取り組み]

許可都道府県及び許可品目

○…産業廃棄物収集運搬業 ◎…積替え保管の許可もある品目

燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	特管 腐食性廃酸	特管 腐食性廃アルカリ	特管 特定有害廃酸	特管 特定有害廃アルカリ	特管 感染性産業廃棄物	特管 特定有害廃石綿等	特管 廃油
-----	----	----	----	-------	----------	-----	-----	------	--------	------	------	-----------	-----	------	------	----------	-------------	-----------	--------------	-------------	-------------	-------

※特管:特別管理産業廃棄物

■ 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 収集運搬業 近畿環境保全(株)

都道府県	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	特管 腐食性廃酸	特管 腐食性廃アルカリ	特管 特定有害廃酸	特管 特定有害廃アルカリ	特管 感染性産業廃棄物	特管 特定有害廃石綿等	特管 廃油
石川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福井県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
滋賀県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※普通産廃は石綿含有産業廃棄物を含む

■ 一般廃棄物 収集運搬業 近畿環境保全(株)

愛知郡愛荘町、大津市、草津市、湖南市、彦根市、守山市、野洲市、栗東市、湖北広域
京都市 (南ラコ)

■ 中間処理業 近畿環境保全(株) 草津工場

破 碎	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず
-----	------------------------------

■ 中間処理業 近畿環境保全(株) F.R.O.Gセンター

選 別	汚泥(有機性汚泥に限る)、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残渣、金属くず
-----	---

■ 中間処理業 (株)湖南リサイクルセンター

破 碎	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類
破 碎	ガラス・陶磁器くず(石膏ボード)
圧 縮	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず
溶 融	廃プラスチック類(発泡スチロール)
一般廃棄物処分業	粗大ごみ、不燃ごみ、木くず、剪定枝

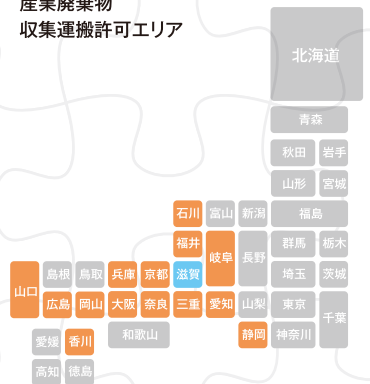
※2015年8月現在

当グループは産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、事業系一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物と一般廃棄物の中間処理許可を幅広く取得しています。

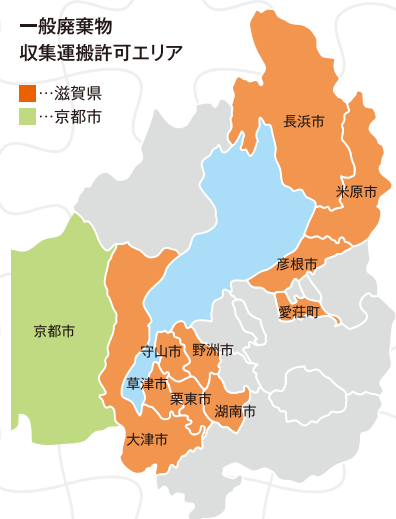
滋賀県湖南エリアや湖北広域、彦根市と愛知郡愛荘町、また京都市における一般廃棄物収集運搬の他、石川県から香川県までの15府県にて産業廃棄物を収集運搬しています。

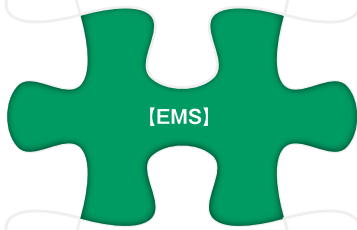
新たに、滋賀県では特別管理産業廃棄物収集運搬許可に廃油を追加し、広島県では特別管理産業廃棄物収集運搬許可を5つの品目で取得しました。

産業廃棄物 収集運搬許可エリア



一般廃棄物 収集運搬許可エリア





【環境マネジメントへの取り組み】

防災対策

安心・安全な仕事環境づくり

火災対策

仕事や作業の危険性を把握し、未然に防止したり危険性を削減する対策を行っています。

当グループにとって最大の危険は火災です。万が一を想定し、緊急事態に対応するための対策手順や策定をしています。また、スタッフ全員が手順どおりに実施できるよう、定期的に社内勉強会や訓練を行い意識の向上をはかっています。

また、火災の原因になる物（ライター、発煙灯等）が廃棄物に混入する事を防ぐため、現場と営業が連携して、お客様へ搬入禁止物の周知をはかっています。

事故防止対策

安全委員会の設置や社内での勉強会、訓練を行っています。

安全委員会は従業員自ら問題意識を持ち立ち上げられた委員会です。

メンバーは環境事業部（物流グループ、施設グループ）、開発事業部、営業部、湖南リサイクルセンターの各担当で構成され、月一回の定例会議を行っています。工場内・物流業務等、業務の中に潜む危険箇所を挙げ、改善策を決定していきます。

活動は定例会議のみならず、安全パトロールや勉強会の開催もしています。安全パトロールでは、週一回安全委員会のメンバーが各現場の見回りを行います。また勉強会は、各部署で月一回、社内全体では年二回開催されています。危険予知（KY）活動やリスクアセスメントについて学びます。



2015年4月には、10月16日に湖南リサイクルセンターにおいて、9月30日には、草津本社にて消防訓練を行いました。

水害対策

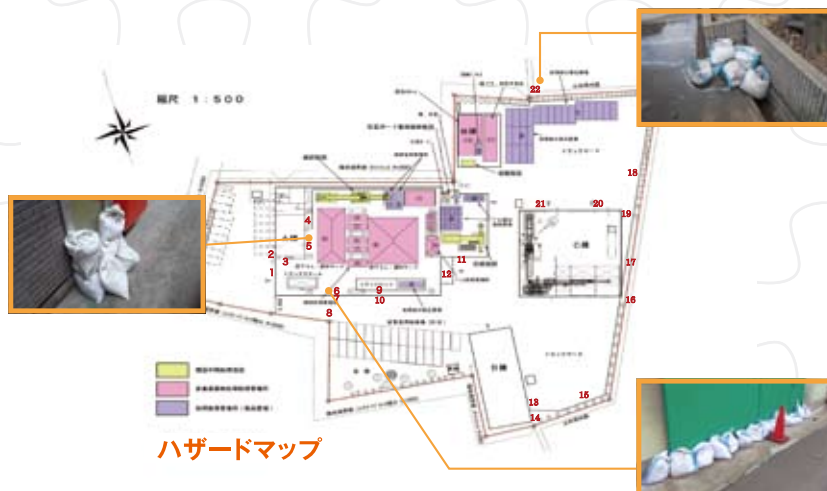
2013年9月に発生した台風18号の影響により、当グループの湖南リサイクルセンターが水害にあい被災しました。この被災から、水害対策の必要性を再認識し、防災対策を強化しました。工場が河川に近く土地も低いことから、事務所内のフロアの高上げ、設備の擁壁の設置等を実施しました。また、災害時の行動マニュアルや、工場内のハザードマップを作成し、災害を未然に防ぐように努めています。

BCP協定



当グループは所属しているエコスタッフジャパンの認定企業40社でBCP協定を結びました。

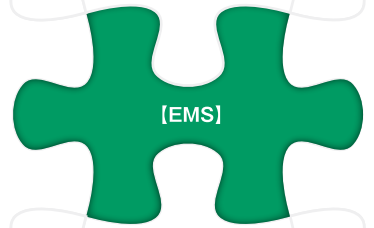
BCP協定とは、「自然災害や不可抗力」により事業活動が継続困難な状況におちいった場合に認定企業が相互に支援し合う協定です。



ハザードマップ

処分地の視察

安心・安全な施設づくり



【環境マネジメントへの取り組み】

処分地の確認

2015年4月に
新規取り引きを開始する、
焼却処分先を視察してきました。

工場見学

お客様自身で、処分地を確認することができます。

廃棄物処理についての情報をお客様に提供するだけでなく、お客様自身の目で、処分地を確認することができます。ご希望があれば、当グループの施設はもちろん、最終処分地においても視察や確認が随時可能となっています。また、研修や環境学習のための工場見学会も行っています。



2014年8月7日に湖南省教育委員会の先生方が
社会教育研修の一環として見学にお越しくださいました。

処分地の確認

最終処分地に赴いての視察、
処理の適正さを確認しています。

お客様から安心して処理を任せいただけるよう、最終処分地に赴いての視察、処理の適正さを確認しています。お客様にご提案するのは、適正さの確認が得られた最終処分地のみとなっています。2014年7月に中国上海の廃プラスチックマテリアルリサイクル施設を視察しました。



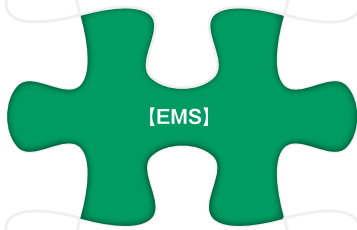
上海のリサイクル施設を視察しました



【スタッフコメント】
株式会社湖南リサイクルセンター
営業課長 西村幸佑

私達は中間処理した産業廃棄物の排出事業者として2次処分先の視察を行っております。2次処分先が遠方になることもあるのでお客様の代わりに、安全に処分がされているかのプロの目線にてチェックしております。

既に取引のある処分先はもちろんのこと、新規で取引を開始する処分先においても取引前に視察を行い安全性を確認しております。お客様の弊社工場視察も随時受け付けております。実際の処理現場を確認してもらうことにより安心して廃棄物処理を委託出来るよう事業の透明性を図っております。



【環境マネジメントへの取り組み】

ISO14001 目的・目標



当グループは2005年より環境マネジメントシステムISO14001を実施しています。環境への負担を軽減するために、前年度よりもさらに高い目標を掲げ、環境経営を行っています。

2014年度から新しい期間を始め、3年間の目的目標を決めました。

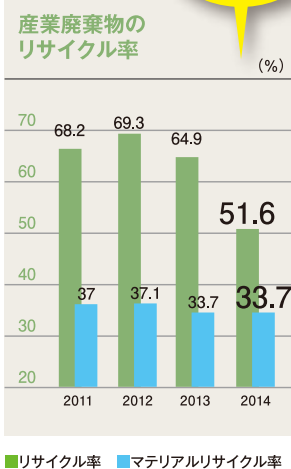
湖南リサイクルセンター

✓ 産業廃棄物のリサイクル

産業廃棄物の中間処理に特化した湖南リサイクルセンターにて年々リサイクル率の向上に努めています。

湖南リサイクルセンターにて産業廃棄物の中間処理を行っています。細かな選別や新たなリサイクル先の開拓により、環境へ配慮した処理を心掛けています。

また、お客様にリサイクル率100%可能な処理方法、ゼロエミッションを提案しています。2014年の目標として、産業廃棄物の中からマテリアルリサイクルされる廃棄物の割合を昨年より1%増える34.7%目指しました。実際のマテリアルリサイクル率は目標を達成することができず、昨年と同様の33.7%になりました。また、維持管理項目として産業廃棄物のリサイクル率(マテリアルリサイクルおよびサーマルリサイクル)を把握しています。2014年度に湖南リサイクルセンターに搬入された廃棄物の約51.6%がリサイクルできました。



マテリアルリサイクル率 **33.7%**

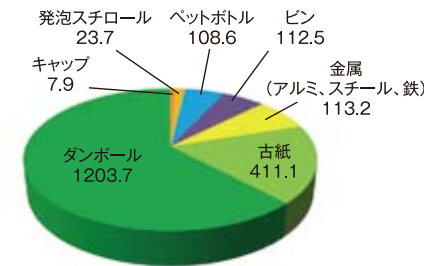
資源循環センター

✓ 資源ごみのリサイクル

事業系一般廃棄物とともに回収される資源物は資源循環センターにてリサイクルされます。

資源循環センターに搬入される資源物は選別された後、リサイクル業者先に搬出されます。

2014年度にリサイクルにつなげた資源ごみの重量は1980.7トンであり、昨年度より7%減りました。ISO14001では、昨年より1%向上を目指していましたが、目標を達成することができませんでした。



資源ごみリサイクル量 **1980.7t**

木材チップ化施設

✓ 木くずのリサイクル

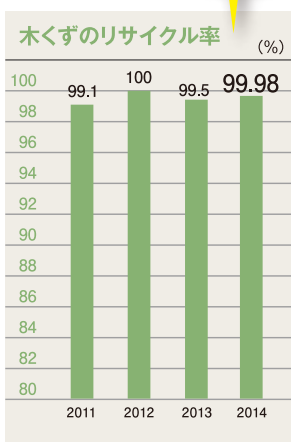
木材パレットや生木などの木くずをより効率的に再利用するために、専用の破碎施設を設けています

当社にてチップ化された木材は品質により製紙原料または建材、燃料として再利用されます。

2014年度の木くずリサイクル目標として90%を掲げました。実績として99.98%を達成し、搬入された木くずのほぼ全てを再利用に繋げることができました。



製紙原料チップ



木くずリサイクル率 **99.98%** 目標達成

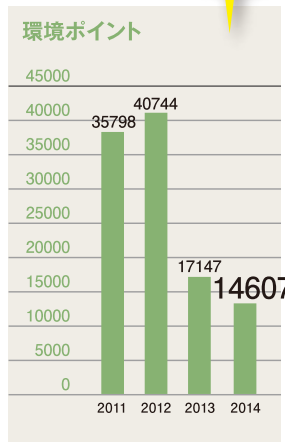
✓ 環境ポイント運動

社員の取り組みとして、毎年継続して資源物回収運動を行っています。

社員に缶、ペットボトル、新聞などの資源物を家庭で収集してもらい、個数や重さに応じてポイントが付与しています。他にも、環境に関するイベントや清掃活動に参加することでもポイントが与えられます。毎年、最も積極的に参加した20名の社員を表彰するなど、社員の士気を高めています。この取り組みもISO14001に掲げる目標の一つとなっています。

2014年度の目標はスタッフ全員13000ポイントを獲得することで、実際に14607ポイント獲得し、目標を達成できました。

また、個人獲得ポイントの場合、100ポイントを目標にしていましたが、100ポイントを達成できた割合は44%でした。



スタッフ全員 **14607** ポイント達成

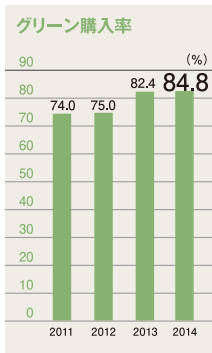
☑ グリーン購入

環境配慮型商品の購入を推進しています。

当グループは2009年度より滋賀グリーン購入ネットワークの会員となっています。文具や事務用品を購入する際には、可能な限り環境配慮型商品を選択しています。

社内で購入する商品の中で、環境配慮型商品の割合を年々増加させるようISO14001の目標金額を設定しています。2014年度から3年間、購入金額の75%以上を維持できるように目標を掲げ、一年目の購入率は84.8%となり、目標を達成できました。

グリーン購入率
84.8%
目標達成



☑ 低公害車輛の導入

環境への負担を減らすため、車輛の購入も低公害車輛にこだわって導入しています。

2014年度から2016年までに低公害車輛を3台増車する目標を立てています。

2014年度末には2台の4tアームロール車を導入し、当社の低公害車輛が増加しました。導入した車輛はNox・PM対応車であり、2015年燃費基準達成車および2001年騒音規制車です。運搬車輛あつての業界だからこそ、環境に配慮できる車輛を選定しています。

低公害車輛
2台
購入



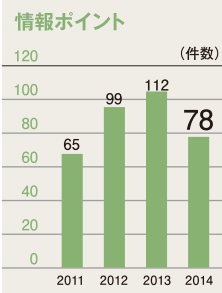
☑ 情報ポイント

情報ポイントは、2011年度より新しい取り組みとして追加されました。

営業部では、お客様に対して当グループの情報発信をすることで情報ポイントを付与しています。自社ホームページやfacebook、産廃情報ネットなどから最新の情報を発信しています。2014年度の目標は109ポイントをつけ、実績として78ポイントになりました。お客様に安心を提供できるよう、今後も積極的な情報発信に努めていきます。

情報発信が目標より少なかった事を反省し、今度はお客様が安心できるように、発信する頻度と情報の有意義性をさらに意識していきます。

2014年度
78P



ISO14001目的目標実施計画表

部門	環境方針	著しい環境側面	2014年度~2016年度	2014年度目標	2014年度実績
全部門	地域に根ざした環境事業の推進で地域社会の貢献に努めます。	環境ポイント制度	環境ポイントを2016年までに39000ポイント以上獲得する	2014年末に13000ポイント以上(2014年度個人獲得ポイント100p目標)	14607P
業務管理部門		グリーン購入	グリーン購入対象商品を、2016年末まで毎年月額事務用品購入金額の総額の75%達成	2014年度末まで75%達成	84.80% 達成
湖南リサイクルセンター	中間処理後産業廃棄物のリサイクル率向上に努めます。	産業廃棄物のリサイクル	中間処理後産業廃棄物の受入量対有価物排出量の比率の向上。2016年度末までに36.7%達成	2014年度末までに前年実績(33.7%)の1%向上(湖南RC 34.7%にする)	33.65%
湖南リサイクルセンター	資源の有効利用と社内から出る廃棄物の分別及び資源ゴミの再資源化に努めます。	木くずのリサイクル	2016年度末までにCヤードの有価資源ゴミ(チップ)排出量と木くず搬入量の比90%以上を達成	2014年度末に、木くずの排出量と搬入量の比を90%以上にする。	99.98% 達成
資源循環センター	資源の有効利用と社内から出る廃棄物の分別及び資源ゴミの再資源化に努めます。	資源ごみのリサイクル	2016年度末までに、有価資源ゴミの取扱排出量を3%向上(2013年度実績 基準値 草津: 2119.5t)	2014年度末までに、1%向上(2140.7tにする)	1980.68t
環境物流システム部門		低公害車輛の導入	27年燃費基準達成車を2016年までに3台増車する	2016年度末までに環境対応車3台を増車する	2台
営業部門	地域に根ざした環境事業の推進で地域社会の貢献に努めます。	情報ポイント	当社の情報発信件数を増加する。(2013年度実績103件 毎年6P向上 2016年度末121P以上目標)	2014年度末までに109Pにする。(情報発信件数)	78件

維持管理項目

当社では、事業をしている中で、どうしても削減・増加しにくい、あるいは削減・増加の目標をたてることのできない項目については、

維持管理を行い、データにより項目の状況を把握しています。そういったことにより項目を意識し、なるべく削減・増加できるように心がけています。

部門	2014年結果		
全構成員 (近畿環境保全(株))	水道消費量 988m ³ (↓)	電気消費量 84.653kw/h(↓)	LPガス消費量 25.4m ³ (↓)
全構成員 (株)湖南リサイクルセンター	水道消費量 1752m ³ (↓)	電気消費量 205.938kw/h(↓)	LPガス消費量 9.8m ³ (↓)
全構成員 (有)ラゴ	水道消費量 659m ³ (↑)	電気消費量 6112kw/h(↓)	
紙の使用量	1名当たり 4,179kg(↓)		
紙の排出率	32.63%(↑)		
産業廃棄物のリサイクル率	51.62%(↓)		
全車両平均燃費	4.49km/l(↓)		
廃油回収量	17,200ℓ(↑)		



Natural environment

【環境・社会活動の推進】

自然環境

自然と生物多様性の保全活動



三雲森林の奥において
下草刈り作業を行いました。
(2014年11月8日)

森林づくり

三雲生産森林組合様との間で「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を結び、森林づくりにかかる費用や労働力を提供し、森林整備の推進に努めています。

当グループと㈱エコネット様、㈱服部モーターズ様の3社が、三雲森林組合様との間で2009年より結んでいる「森林づくりパートナー協定」の5年間は2014年末で満了しました。5年間で10回の森林づくり活動を行い、支援金を提供し健全な森づくりに貢献しました。

2015年より新たな5年間の協定を結び、これから㈱服部モーターズ様と当社2社で支援することとなりました。



琵琶湖の水源でもある森林を整備し、琵琶湖を守る活動をサポートしています。

当グループはこの協定により琵琶湖の水源でもある森林を整備し、私たちの暮らしの支えとなっている琵琶湖を守る活動をサポートしています。また、森林を元気にすると共に、CO₂の吸収量を増やし、地球温暖化防止への貢献にも役立てています。また活動を通して地域住民の方々との交流を深め、環境に良い地域づくりと共生、基盤づくりを行い、未来の子供たちへ健全な自然を残していけるよう努めています。

琵琶湖森林づくりパートナー協定 延長に伴う知事表敬訪問

琵琶湖森林づくりパートナー協定の 延長を三日月知事に報告しました。

琵琶湖森林づくりパートナー協定を延長したことを契機として、2015年9月3日(木)に、三日月大造滋賀県知事を表敬訪問し、これまでの森づくり活動や、今後の取組方針等について報告しました。



対談の中で、三日月知事から、「三雲の森林は、琵琶湖の水源として大切な役割を果たしています。琵琶湖森林づくりパートナー協定を活用しながら、企業の皆様と森林所有者の皆様が協働で森林を守り育てていただいていることに、改めて感謝申し上げます。今回の協定延長を契機として、地元の三雲生産森林組合様とさらに交流を深めながら、三雲の森林づくりを継続していただけることを期待しています。」とのコメントをいただきました。

CO₂吸収証書をいただきました

3社の支援による森林整備の内容を毎年滋賀県庁森林政策課に申請し、滋賀県知事よりCO₂吸収証書をいただいています。2014年度の森林整備活動により80.87tCO₂が吸収されました。2009年より2014年度末まで295.52tCO₂の削減に貢献できました。



2009-2014年度
約**300t**
CO₂削減

植菌体験で植えた しいたけ

2013年3月に行ったしいたけ
植菌体験で植えたしいたけは
無事に出してきました!





カヌー体験

子どもとカヌーで夏のヨシ原を見物してきました。冬に刈ったヨシが、また青々と生い茂っていました。

ヨシでびわ湖を守る活動

2010年より「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のメンバーとして、ヨシ刈り活動に参加しています。



外来魚駆除

ヨシでびわ湖を守るネットワークでは琵琶湖の固有種を守る外来魚駆除釣り大会も企画され、2015年6月13日に当社も参加しました。

多年生の草本のヨシは、刈り取って持ち出すことで琵琶湖の浄化につながります。
(滋賀県琵琶湖環境科学センターのHPより)

ヨシでびわ湖を守るネットワークのメンバーとして、草津市や近江八幡市で、湖岸や西の湖などのヨシを刈り、ヨシの有効利用とびわ湖の浄化を促進しています。

2014年度には12月と2015年2月に2回の合計3回参加しました。スタッフは琵琶湖やヨシへの関心が高まる上、若手社員が先輩とともに汗を流して活動することは社内コミュニケーションやチームワークの向上にも役立ちと感じています。

これからもヨシ刈りや森林づくり活動に積極的に参加し、地域への貢献活動および環境意識とチームワークを高める社外研修の一つとしても活用していきます。



【スタッフコメント】開発事業部 課長 小林慎也

滋賀県に住んでいる者としては琵琶湖の環境保全活動に参加できてよかったです。自分たちが刈ったヨシが文房具などに生まれ変わることを初めて知りました。今後とも積極的に参加したいと思います。

清掃活動

当グループは地域における清掃活動や、美化活動に毎年積極的に参加しています。



毎月の清掃活動



「びわ湖の日」清掃活動



毎月一回、KINKANグループ三社で、会社三カ所の周辺にて清掃活動を行っています。

また、毎年7月1日に行われる「びわ湖の日」美化活動に2014年度も参加し、地域の様々な企業と共に守山市湖岸沿いと湖南市の親水公園の2カ所にてゴミ拾いを行いました。



Natural environment

[環境・社会活動の推進]

自然環境

低炭素社会への取り組み

[新エネルギー] 太陽光発電

2014年8月よりF.R.O.Gセンターの施設に約12kwの太陽光パネルを設置し、太陽光発電を行っています。
2015年4月末までに、11,663kw/hを発電しました。それは約6tのCO₂削減に相当します。



2014年度
約**6t**
CO₂削減



[植林による環境保全] カーボンオフセット

環境への負荷を軽減するために、2008年5月から内モンゴルにてカラマツの植林を行っています。植林により当社のCO₂排出量の約5%をカーボンオフセットしています。カラマツ1本が30年間で吸収できる二酸化炭素量はおよそ250kgであると言われています。
植林を通して、地球温暖化防止だけでなく、砂漠化の進行をくい止めたり土壌回復による生物多様性の確保など地球環境の保全にも努めています。スタートから2014年度末まで664本のカラマツを植林しました。これは、合計約467kgのCO₂削減量に相当します。

2008-2014年度
467kg
CO₂削減

2008年5月から
内モンゴルにて
カラマツの植林を
行っています



2011年

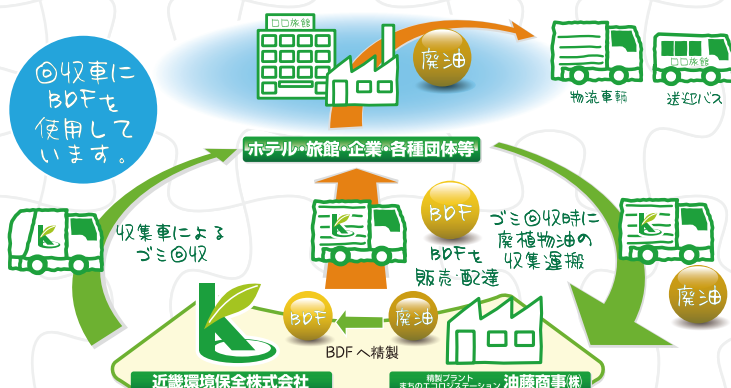
2015年

森の状況は <http://carbonfree.co.jp/tree-station/> でご覧になれます

[地域における循環] BDFプロジェクト

循環型社会を目指し、2006年度から廃植物油を回収しています。その廃植物油は豊郷町にある油藤商事株式会社にて精製され、作られたバイオディーゼル燃料(BDF)が地域やお客様の車輛に使用されています。
BDFは新たに二酸化炭素を排出しないため、「カーボンニュートラル」な燃料であると言われています。またこの活動は、地域で排出された油を地域でリサイクルし再利用することにより、循環型社会の実現に近づくことができます。

2014年度
47t
CO₂削減



BDFを使用することで、特別な技法によりCO₂や黒煙を削減します。すぐれたBDFに精製。

2014年度は17,200リットル油を回収し、回収量は昨年より36%増加しました。軽油の代わりにBDFを使う場合、この回収量により47.07tCO₂を削減することができます。



油回収量
36%
増加

地域環境

地域とのコミュニケーション



【環境・社会活動の推進】



地元のスポーツを応援

プロバスケットボールチーム
「滋賀レイクスターズ」を
スポンサーとして応援しています。

当グループは地域のスポーツチームを応援することにより、地域との交流や協働環境活動の活性化などに貢献することを目指しています。

「滋賀レイクスターズ」のホームゲーム会場において「エコステーション」と名付けた廃棄物回収場所で可燃ごみと資源ごみの回収を行っています。資源ごみの売却収益の一部を「循環型社会創造研究所えこら」を通し、琵琶湖の環境保全に寄付しています。

2014/2015シーズンで約956kgの資源ごみが集まり、2010年から2015年4月末現在まで約7㎡のヨシを再生できる金額を寄付することができました。



【パートナー企業コメント】 株式会社滋賀レイクスターズ 代表取締役 坂井信介 様

近畿環境保全様には、2010-2011シーズンより滋賀レイクスターズをスポンサーとしていただいております。

試合会場内にフラッグ(横断幕)広告と、エコステーションを設置して頂いています。エコステーションのおかげで、以前よりも来場者・関係者のゴミの分別に対する意識が高まっていると感じております。

また、滋賀レイクスターズは2016年9月より開幕しますバスケットボール新リーグ「Bリーグ」1部への参入が決定いたしました。国内最高峰のリーグで滋賀を代表して戦ってまいりますので、引き続き熱い応援をどうぞよろしくお願い致します。



地元サッカーチーム「MIOびわこ滋賀」の応援

JFL (Japan Football League)で闘う「MIOびわこ滋賀」を応援しています。地元のサッカーチームであり、地域活性化活動の一環としてMIOへの支援活動に取り組んでいます。





Regional environment

【環境・社会活動の推進】

地域環境

様々な環境に関する イベントに出展

びわ湖環境ビジネスメッセ

【2014年10月22日～24日／長浜ドーム】

毎年開催される大規模な展示会、
「びわ湖環境ビジネスメッセ」に
2014年も出展しました。

「びわ湖環境ビジネスメッセ」の基本理念、「環境と経済の両立」に賛同し、当社の環境に配慮した事業や環境への取り組みなどを紹介しました。

2014年のメッセは10月22日(水)～24日(金)の3日間、長浜ドームにて開催され、316社の企業が出展し、35940名が来場されました。

我々KINKANグループも、9回目の出展となり、新事業である食品リサイクルや回収の新たな仕組み、環境活動などをご紹介します。



また、メッセを研修の場としても活用しています。若手社員が中心となって出展の準備と企画を行ない、実際に接客することで、コミュニケーションスキルの向上や事業を確認する良い機会となりました。

当社ブースには1000名以上の方々にお越しいただき、滋賀県の企業や県民の方々の有意義なコミュニケーションの場となりました。



草津市エコフォーラム

【2014年8月27日／草津市】

草津市にてエコフォーラムが開催され、
様々な企業団体と交流をはかりました。

毎年夏に当グループ本社がある草津市にてエコフォーラムが開催されます。環境問題や取り組みなどの最新情報に関する講演会と展示会が行われます。

当グループは昨年に引き続き、2014年8月27日のエコフォーラムに出展し、草津市における企業や団体の方々と交流をはかりました。



【スタッフコメント】
営業部 鈴木 奈津子

琵琶湖環境ビジネスメッセや草津市エコフォーラムなどのイベントでは、弊社の事業内容や環境に対する取り組みについて出展し、多くの方にご来場いただきました。

来場されるお客様は環境に対する意識がとても高く、多くのことを学ばせて頂きましたし、弊社事業が環境に直結している事業であると改めて実感しました。

また、お客様の要望をお聞きしながら取組についてお話しさせていただくという経験は、私の中で大きな自信につながりました。今後もこの経験を日々の業務に活かしていきたいと考えています。



寄付活動

当グループは資源ごみの価値をさらに活かし、地域に役立てます。



【お客様コメント】
社会福祉法人
八起会様

社会福祉法人八起会では、地域のために何か貢献できないかと、ペットボトルのキャップやプルタブ、ダンボール等の資源ごみの回収を行い、資源の有効活用のために近畿環境保全(株)様に、約5年前から継続してお預けしています。

限りある資源を上手く利用するため、回収には職員のみならず地域の皆様にもご協力をいただいておりますが、小さな一つの行動を積み上げていくことの大切さを実感しております。

こういった小さな行動でも大きな力になるということを多くの方々から知っていただくよう、これからもより活発な活動に期待しています。

循環型社会創造研究所

えこら

寄付 活動費



25.3t 資源物

約100,000円寄付

「循環型社会創造研究所えこら」を通じ、琵琶湖の環境保全と環境意識の促進に活かしています。

KINKANグループは、2010年度より資源ごみで琵琶湖の環境保全活動に協力しています。お客様から提供していただいた缶やペットボトル、古紙、廃植物油などの資源ごみを、「循環型社会創造研究所えこら」を通じ、琵琶湖の環境保全と環境意識の促進に活かしています。

資源ごみで集まった金額は「マザーレイク滋賀応援基金」と「びわ湖の日基金」に寄付されます。2014年度には、約25.3トンの資源ごみを寄付につなげることができました。「循環型社会創造研究所えこら」は資源ごみで琵琶湖の環境保全活動や環境学習、エコに関するイベントの開催などを行っています。

環境イベント

「Live! Do You Kyoto?」



601kg キャップ

約300個ワクチン

音楽を通じてエコを考える環境イベントに今年も協力しました。

音楽を通じてエコを考えてみよう、2008年から始まった京都における音楽イベント「Live! Do You KYOTO?」が2014年も開催されました。

このイベントでは環境への取り組みとして、ペットボトルのキャップを集めています。出演されるアーティストはもちろん、会場に足を運んでくださるオーディエンスの皆さんが、会場へキャップを持って来てくださり、毎回たくさんのキャップが集まるようになってきました。

この音楽とエコを組み合わせたイベントに当グループも賛同し、スポンサーとエコキャップ回収の協力者として関わっています。

2014年のイベントで601kgのキャップが集まり、昨年と同様の重量になりました。キャップのリサイクルから得た収益はエコキャップ推進協会を通じ、ワクチンに使われました。

読売新聞との取り組み



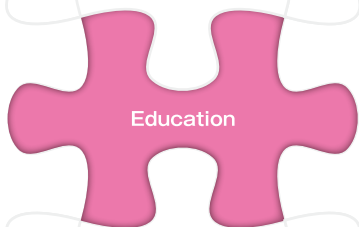
106.5t 資源物

読売新聞を購読されているお客様から古新聞や缶・ペットボトル・雑誌などを回収しています。

読売新聞の販売店と共同で始めたこの共同プロジェクトでは、リサイクルした収益の一部を様々なところに寄付しています。

2010年度には植林活動に寄付し、2011年度には大震災で親を亡くされた子どもたちに「あしなが育英会」を通じて支援活動を行いました。

2012年度より2014年度にかけてアジアの子どもたちにワクチンを贈るJCVに寄付しました。2014年度には106.5トンの新聞などの資源物が集まり、リサイクルした収益は、草津市のまちづくり協議会と、JCVに寄付されました。

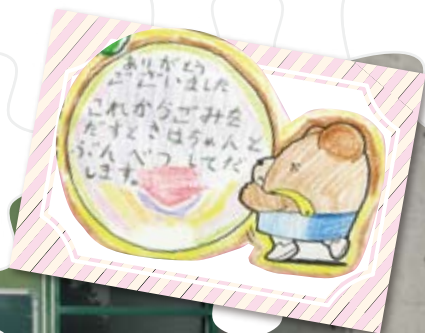


Education

[環境・社会活動の推進]

教育

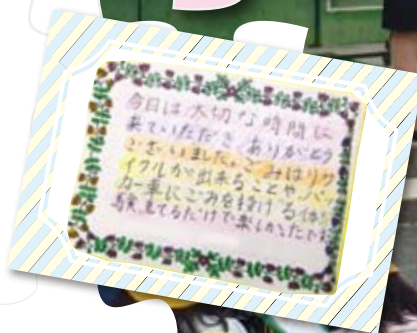
環境学習活動



次世代の子どもたちに向け 環境学習を積極的に 実施しています。

ごみのことやリサイクルの方法などを次世代の子どもたちに伝えることは、当グループの使命であり、環境意識の向上と持続可能な社会への構築につながると信じています。

子どもたちにはごみ分別とリサイクル方法について学習してもらいます。実際に車輦にごみを積み込む体験や、廃植物油の精製の仕組みを見学したり、プレスされた缶、プラスチックインゴットなどに触れながらの説明で、子どもたちはリサイクルを肌で感じるができます。また、クイズ形式でゲームをしながら、知識を深めてもらいます。



県内の小学校6校にて 環境学習を実施

2014年度には、湖南省・野洲・守山・大津市の小学校、6か所にて4年生の環境学習を行いました。



2014年度実績

- | | |
|------------|-----------|
| 湖南省立菩提寺小学校 | 守山市立物部小学校 |
| 湖南省立三雲東小学校 | 野洲市立三上小学校 |
| 守山市立吉身小学校 | 大津市立青山小学校 |



【スタッフコメント】営業部 池元大輝

私自身、環境学習には何度か参加させて頂いているのですが、子供達のごみやリサイクルに関する知識の多さに毎回驚かされています。学習後に、「分別をしっかりする」、「パッカー車への積込体験ができてよかった」など感想を頂くと、学習を行なってよかったとします。この学習で学んだことを、ご家庭や地域の方々へと共有する機会を作って頂き、分別や環境に対する意識を広げていただければと思います。





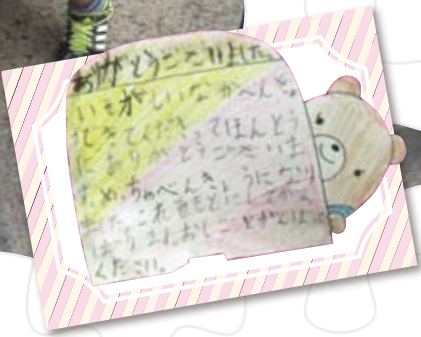
クイズ・ゲーム

二五八祭り

毎年11月3日に開催している、東近江市の二五八祭り内の「童の広場」にて職業体験をしてもらいました。主に資源物の選別とパッカー車への積み込み体験をしてもらい、分別の大切さを学んでもらいます。



リサイクル体験



【先生コメント】守山市立吉身小学校 田中 彰 先生

子どもたちにとって、使い終わったものや不要になったものは、「ごみ」として捉えがちです。自分たちが日常生活で使ったものがどのように扱われ、どのように変容していくのか、自分で実物を見たり触ったりすることで、驚きと共に、確かな学びとなって子どもたちの中に残ったと思います。この学習では、単に環境問題としてだけではなく、国による違いも学ばせていただき、国際理解の観点からもよい学習になりました。これからの社会に求められる、グローバルな視点で環境問題を考えていくきっかけになればと願っています。



Working environment

【環境・社会活動の推進】

労働環境

スタッフのスキルアップ

安全委員会

労働災害の多い廃棄物処理業界において安全に業務を継続出来るよう努めています。

安全委員会は、従業員自ら問題意識を持ち立ち上げられた委員会です。各部署の責任者が月1回定例会議を行い、工場、物流、各部署の危険箇所について、改善策を話し合います。リスクアセスメントやヒヤリ・ハットを行ない、会社に潜む危険箇所を共有しています。

社内勉強会・訓練

安全委員会では様々な勉強会と訓練を行っています。

危険予知(KY)活動やリスクアセスメントについて各部署の責任者、担当者が月一回の定例会議を行い、社内全体では年二回勉強会、訓練を行っています。2014年度には、9月30日に資源循環センター、10月16日に湖南リサイクルセンターにて消防訓練を行いました。このように勉強会や訓練を行うことで知識の向上をはかっています。

重機、機械を使う時に不可欠な知識を得る為、メーカーと連携して研修を行い、環境マネジメントシステム(ISO140001)に関する勉強会も開催しています。

また、作業服やヘルメット、マスク等の安全装備も現場の声を聴いた上で安全委員会にて協議し、作業に適した物へと改善しています。

仕事環境の改善に努めることで、お客様に安心してもらえる廃棄物処理を目指しています。



女性の労働環境作り

女性が働きやすい職場作り

当グループは出産後、育児休業を利用して正社員での就業を継続する女性が現在二人います。また、パートで働ける場も作り、育児をしながら仕事をする女性スタッフを応援しています。

【スタッフコメント】環境事業部 施設グループ 吉永由香里

現在、2度目の産休、育児休暇後、職場復帰し、約1年がたちました。子供の成長ってはやいですね。産休はととてもありがたい制度で、出産準備もできましたし、大きなお腹になっていく事で、何をすることも大変な時期をゆっくり過ごす事が出来ました。育児休暇は日々成長していく子供と過ごせる、とても貴重な時間で、あつという間の1年間でした。復帰前は、自分の居場所はあるのかな、仕事内容忘れていないのかな、などすごく不安で心配でしたが、まわりのサポートもありスムーズに職場復帰することができました。今では上司、同僚、職場の仲間たちや家族、みなさんの、心づかいと協力のおかげでなんとか仕事と家庭の両立ができました。毎日、家事に育児に仕事とバタバタ忙しい日々を過ごしております。

パートさんもイキイキ働けます!



スタッフの知識を向上できる
職場づくりに努めています。



教育・研修

全国における優良な廃棄物処理業者の
ネットワークにKINKANグループは
認定企業として加入しています。

当グループはスタッフのスキルアップを心掛け、随時研修の機会を与えています。2011年よりKINKANグループは滋賀県唯一のエコスタッフ・ジャパン認定企業として加入しています。

スタッフがESJネットワークにおける営業研修やドライバー研修、安全衛生研修、合同施設見学会などに参加し、学びながらスキルアップをはかります。お客様に安心・安全でより良いサービスを提供できるよう知識をレベルアップしていきます。

また、若手社員を中心にスキルアップの為、(公財)産業廃棄物処理振興財団が主催する経営塾への入塾や、廃棄物管理士、エコ検定などの取得も支援しています。



営業研修に参加



スタッフの 趣味を応援

ホノルルマラソン完走の夢をサポート

当グループで長年にわたり働いているスタッフの大好きな趣味は走ることです。職場まで毎日20キロを走り、肉体労働をした後走って帰る。その姿に感心し、2014年12月14日にホノルルでマラソンを走りたいという夢をサポートすることにしました。

【スタッフコメント】環境事業部 物流グループ 野々村 敏希

通勤していた自転車がパンクして、会社まで走ったのがきっかけで、毎日守山から石部まで走るようになりました。いつかマラソンに出たいなと思って、あこがれの南の国、ハワイで走ることができれば、最高だと思いました。会社で一週間の休みをお願いしたら、あれ?どうした?と聞かれて、ホノルルマラソンに出ると言ったら、「嘘でしょう!」と最初言われましたが、本気だと分かってもらって、同僚にどんどん応援してもらえるようになりました。

マラソンは初めてだったし、会社からユニフォームや支援をいただいたので、プレッシャーが大きかったのですが、完走できてホッとしました。次の夢は世界一周ですね。やや、もちろんまず飛行機で(笑)





福祉

【環境・社会活動の推進】

福祉への取り組み

障がい者の皆さんと共に

地元のいしべ共働作業所と、しあわせ作業所の皆さんとともに作業を行っています。

当グループは障がい者雇用支援をしている、地元のいしべ共働作業所としあわせ作業所の皆さんとともに作業を行っています。2011年度より始めた「いしべ共働作業所」との取り組みでは現在3名の方が来られています。2014年度より新たに「NPO法人就労ネットワーク滋賀、しあわせ作業所」とも連携し、12名の方が来られることになりました。

湖南リサイクルセンターにて紙類の分別やダンボールの開梱作業、資源循環センターにおいて溶融作業と缶・ペットボトルの選別作業をともに行っています。また、FROGセンターでは袋から食品を出す作業も行なっています。

人数と作業の範囲を増やし、これからもこの取り組みを進めていきたいと考えています。2014年9月に障がい者雇用のセミナーに参加し、雇用方法や活動の様々な事例を学んできました。

シルバー雇用

2014年度より草津市のシルバー人材センターより一人を雇い、資源循環センターにて缶・ペットボトルの選別作業をしていただいています。

環境に寄与する資源ごみの選別は、心も体も気持ちいい!

【パートナー団体コメント】田中鋼一 様

定年退職後、色々仕事をやってみましたが、管理の仕事が多くて、座りっぱなしでした。近畿環境保全に来た時から仕事が違って、体力を使っていますので、6キロ痩せました。最初は疲れて、ぐっすり寝ましたが、今は一日おきに仕事してまし、午後だけです、ちょうどいい感じで、ご飯も美味しく食べています。

仕事でよく動いていて、体重だけではなく、中性脂肪も減ったので、よかったです。資源ごみの選別という仕事をさせてもらうことによって環境に寄与している意識があって、気持ちいい。

上司に時々遅いと怒られますが、これはベストの仕事だと思っていますので、これからも頑張りたいと思います。



作業所の皆さんと資源ごみの選別作業を行なっています。



しんどくても仕事が終われば達成感を感じます。

【パートナー団体コメント】土田愛美 様

体力を使ってもしんどい時もありますが、やりがいがあると思います。体を動かす仕事なので作業が進んでいると分かりますし、一日の仕事が終わったら達成感を感じます。紙に付いているややこしい部品もあって、最初はどのように分別するか分かりませんでした、スタッフに聞いたので、教えてくれました。

困難な仕事でも、皆と一緒に仕事して楽しい!

【パートナー団体コメント】長田慎也 様

暑い日も寒い日も頑張っています!皆と一緒に仕事して楽しい!紙の種類が多くて、最初は分け方が難しかったんですが、慣れましたし、ごみの分別に関する意識も変わりました。リサイクル工場で働く、他の資源ごみ、ペットボトルとかの分別も濃く大事だと分かりました。



事業内容の強化

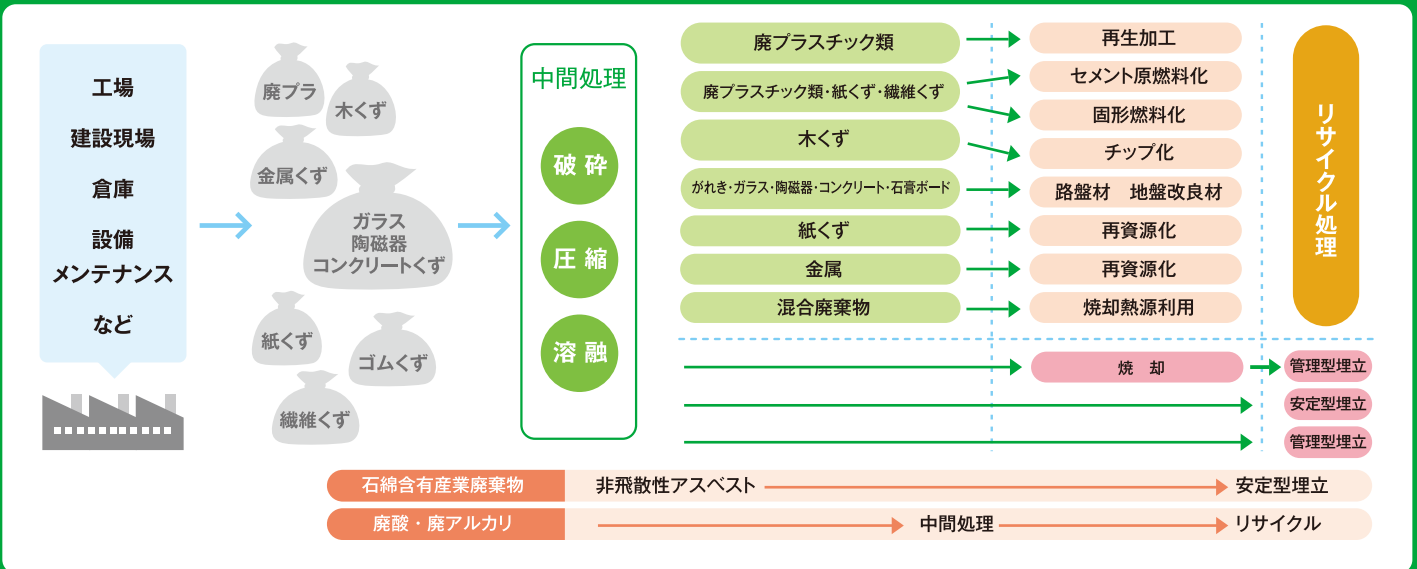
【体系的な事業内容】

当グループはお客様のニーズに応える為、多岐に渡る許可を取得し、収集から最終処分までを適切に管理しています。

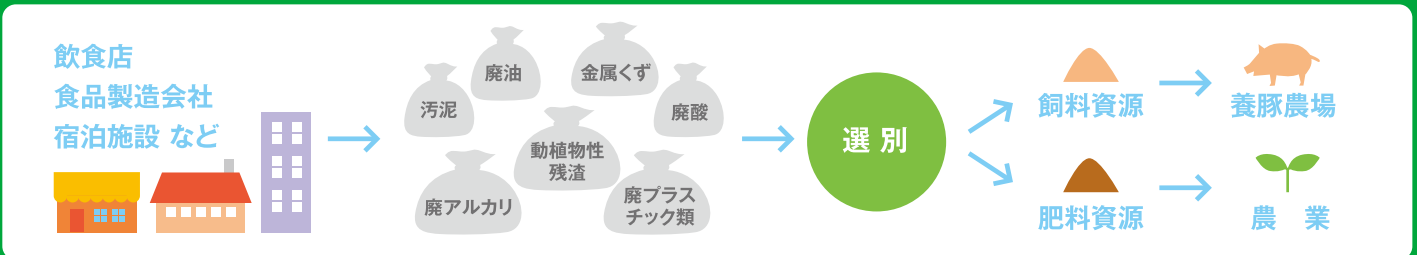
事業系一般廃棄物（収集運搬）



産業廃棄物（収集運搬・中間処理）



食品廃棄物（収集運搬・中間処理）



特別管理産業廃棄物（収集運搬）



T-POINT が貯まります。



当社グループ内で解体から廃棄物の収集運搬、処理まで一貫施工

【物流部門・効率的な運搬車両】

最適な車両を手配してお客様の元へ

当社では、万が一の事故を防ぐため出発前の事前チェックによりドライバーの身だしなみや健康状態の確認・車両の点検を行います。廃棄物の引取り後は、みまもり君やGPS等の運行情報システムにより廃棄物の適正運搬及び安全運転管理を実現しています。お客様から委託された廃棄物は契約に基づき、品目や性状によって適正な処分先へと運搬させていただきます。



許可品目

廃プラスチック類
金属くず 紙くず
木くず 繊維くず

事前チェック

- ✓ 免許・許可書
- ✓ マニフェスト
- ✓ 緊急事態マニュアル
- ✓ 健康状態のチェック
- ✓ 車両の点検

ドライバーは出発前に身だしなみ・健康状態の確認を行い、免許証や許可証、マニフェスト等の携帯物チェック、車両点検を行います。
また、緊急事態マニュアルを各車両に携帯し、万が一の事故の際は各ドライバーが適切な対応をとれるように対策を実施しています。



廃棄物に合わせた、運搬方法を提案

KINKANグループが保有する運搬車両は、お客様のニーズに幅広く対応できる充実のラインナップ。廃棄物の種類に合わせた多彩なコンテナと、最適な車両を手配し、お客様のもとへお伺いいたします。

アームロール車

台数：3台(10t)、3台(9t)、
7台(4t)、2台(2t)

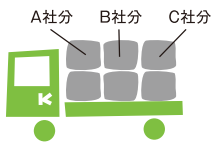


当グループのスタンダード車両です。荷台がコンテナになっているので、そのまま降ろして設置できます。

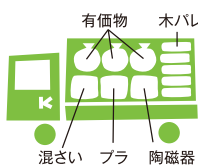
コンテナ一覧

ECCO回収サービス対象車

効率のよいルートでエコ



まとめて大量同時運搬でエコ



15t 低床WING 車

台数：2台(15t)



一度に多量の荷物を運ぶことができます。段積み、リフトでの積み込みが可能です。小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせにも適しています。

平ボディ車

台数：1台(9t)



小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせが可能です。



高度運行情報システム

ガラス・陶磁器及び
コンクリートくず
がれき類 ゴムくず

みまもりくん



みまもり君とは、最高速度・急発進、急ブレーキ等の運行情報を管理するシステムです。
当社では、みまもり君による運転日報をもとにドライバーへの安全運転意識の向上を図っています。



ETマニフェスト e-reverse

電子マニフェストに付加機能が付いたものです。ETマニフェストはGPSデータによる運行管理が可能になり、e-reverseは、建設工事等の現場特性に合わせた運用ができます。

KINKANグループ

「湖南リサイクルセンター」へ

湖南RC

許可品目

汚泥 燃え殻 廃油 廃酸
廃アルカリ 動植物性残渣
鉱さい ばいじん 感染性廃棄物
廃石綿



湖南リサイクルセンターで処理が出来ない廃棄物も協力業者とのパートナーシップにより、適正な処理先を提案します。

協力業者

パッカー車 台数：1台(9t)、8台(4t)、8台(3t)



圧縮型の積み込み車両です。重量が軽く圧縮できる廃棄物を大量に積み込むことができます。

計量器付き：7台



巡回回収を行っている際、個別に重量計量ができる計量器付



環境への負担が少ない「天然ガス車」を導入しました!

ユニック付アームロール車

台数：1台(4t)



ユニックで釣り上げての積み込みが可能です。リフトをお持ちでないお客様のもとで、コンテナの積み合わせや小コンテナの交換ができ、荷台のコンテナをそのまま設置することも可能です。

2tアルミ車、軽トラック車

台数：各2台



主に資源物の回収に使用しています。道幅の狭い住宅地など、小回りの効く回収ができます。

冷蔵冷凍車 台数：1台(3t)



最適温度を保持する冷蔵車です。主に食品廃棄物の運搬に利用しています。

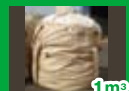
フレコン

アミかご

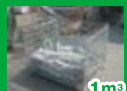
ふた付き

食品回収BOX

小口産廃回収BOX



1m³



1m³



1.5m³



4m³



6m³



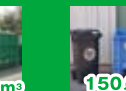
8m³



8m³



24m³



150L-500L



60L

湖南リサイクルセンター

【産業廃棄物 処理】



県下最大級の処理能力を有する工場

株式会社湖南リサイクルセンターでは産業廃棄物、一般廃棄物の処理とリサイクルを行っています。廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、ガラス・陶磁器・コンクリートくず、金属くずなど8品目を取り扱っています。適正な選別、中間処理を行い、マテリアルリサイクルや、サーマルリサイクルに繋がります。また、お客様のニーズに合わせたリサイクル、処理を行います。



搬入・計量

廃プラスチック類 金属くず
紙くず 木くず 繊維くず
ガラス・陶磁器及びコンクリートくず
がれき類 ゴムくず



選別

細かな手選別により
各リサイクルルートへ



圧縮



破碎

朝礼・ミーティング



「おはようございます、こんにちは、いらっしゃいませ、ありがとうございました」で1日の業務が始まり、一人一人が声を出す事により、その日の仕事へのスイッチが入ります。朝礼後のミーティングでは、各自その日のスケジュールを共有し、業務が円滑、安全に進むようにしています。日々朝礼、ミーティングを行いお客様にとって安心、安全な会社を目指しています。

重機・設備の点検



お客様からお預かりした廃棄物を適正に処理をする施設や重機などは、事故や故障によってお客様にご迷惑をおかけしない為にも、毎日点検をし、定期的にメンテナンスも行っています。お客様が湖南リサイクルセンターに廃棄物を出せば安心だと言ってもらえるように、私たちは日々努力しています。



破碎



【スタッフコメント】湖南リサイクルセンター 主任 吉田 光

朝に大きな声で唱和をする事で、職場の空気も明るくなりますし、お客様に対しても気持ちのいい挨拶が出来ていると思います。朝礼時に行うラジオ体操では、その日の自分の体調などを確かめるにはいい運動だと思います。朝礼後のミーティングでは、スケジュールと各自の行動などを共有しコミュニケーションを取る場としては最高だと思います。また、過去には、重機・設備の故障などのトラブルはありました。その故障の中でも事前に点検やメンテナンスを行っていれば未然に防げた事は多々あったはずなので、今では毎日始業前点検は徹底し不具合があればすぐに対応出来るようにしています。

マテリアルリサイクル

搬入される廃棄物から有価物のプラスチックを当工場で粉碎、圧縮、溶融加工し、国内外に売却しています。
また、塩化ビニールパイプ専用の粉碎機を導入し、更にリサイクル率を向上させています。処理されたプラスチックは国内外にて、新しいプラスチック商品に生まれ変わります。



マテリアルリサイクルできない廃プラスチック

セメントリサイクル

廃プラスチック類
(塩ビを除く)

100t
日量処理能力



圧縮処理



プレス梱包された廃棄物

株式会社トクヤマにて
セメントの原料としてリサイクル

ゼロ
エミッション
達成

セメントリサイクルできないプラスチック、紙くず、繊維くず、また、その混合物

固形燃料(RPF)リサイクル

廃プラスチック類、
紙くず、繊維くず
(塩ビを除く)

100t
日量処理能力



圧縮処理



プレス梱包された廃棄物

製紙社にて
バイオマスボイラーに
使用しリサイクル

固形燃料

ゼロ
エミッション
達成

セメントにも、RPFにも適さない廃棄物

サーマルリサイクル

廃プラスチック類、金属、
木くず、紙くず等、
混合物廃棄物、
複合廃棄物

200t
日量処理能力



破碎処理



破碎処理された廃棄物

排熱を発電に利用後、
灰をリサイクル

ゼロ
エミッション
達成

【産業廃棄物 処理】

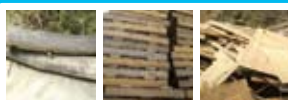
木材チップ専用破碎施設



湖南リサイクルセンターに同設する木材チップ専用破碎施設では、種類ごとに搬入された木くずを、破碎施設によりチップ化します。木材チップは製紙原料や建材原料、マルチ堆肥などに利用されています。原料や堆肥として利用出来ないものは、バイオマスボイラーの燃料として活用しています。自然の恵みを有効に再利用することを目的に、木材のリサイクル率100%を目指しています。



様々な状態の木くずを有効にリサイクル



純木パレット、梁、柱材、
合板、腐敗パレット、生木、など



釘などの金属は
磁力選別機により
分けられます。

木くずを破碎してチップを製造します。



有価物として売却されます。



製紙原料チップ、
建材原料

堆肥、バイオマス
ボイラー燃料チップ

資源循環センター

【資源物処理】



資源ごみのリサイクルステーション

ダンボールや古紙、空き缶、発泡スチロール、ペットボトル等の資源ごみをリサイクルする再生施設です。可燃ごみの収集車とは別に2tアルミ車にて収集を行い、資源ごみを巡回回収しています。お客様の持込みにも対応しており、有価物として買取りしています。



資源ごみの回収



選別圧縮機



磁石でアルミ缶とスチール缶を選別し、圧縮

製鋼原料として再生



圧縮処理された空き缶

大型圧縮機



ペットボトルおよびダンボール、古紙を各種類ごとに圧縮

プラスチック原料、製紙原料として再生



圧縮処理されたダンボール、ペットボトル

溶融機



発泡スチロールを細かくし、インゴットの形に溶融

プラスチック原料として再生



溶融処理された発泡スチロール

処理した資源物はすべて有価物として販売しています。

F.R.O.Gセンター

FOOD RECYCLE ORGANIC GATHERING SYSTEM

【食品リサイクル工場】



食品リサイクル・ループの実現を目指して

2013年に食品リサイクル工場、F.R.O.Gセンターを新設しました。
F.R.O.Gセンターでは、食品の製造、流通、消費の各段階で生じる食品廃棄物を、飼料、肥料へとリサイクルしています。これまでゴミとして捨てられていた食品を、飼料や肥料として利用する事で、ごみ処理や環境への負担が軽減できます。また、廃棄物が減少することにより処理にかかるコストも削減できます。



【お客様コメント】

丸中製麺株式会社
総務課 高畑 秀 様



弊社において2014年度に排出された食品廃棄物は全て飼料化し、食品廃棄物のリサイクルに取り組んでいます。飼料化した食品廃棄物は豚のエサとなっています。

同時に、食品廃棄物を発生させないよう抑制の取り組みもおこなっております。食品廃棄物の削減はISO14001における目的・目標となっており、2012年度から毎年半減させてきました。これは、ラインの集約による生産効率の向上、従業員への教育やメンテナンスに力を入れてきた結果です。

近畿環境保全様には食品廃棄物を収集運搬していただき、容器も含め確実に処理していただいております。環境に対する意識や法令順守に対する意識が高いため、弊社としても安心して食品廃棄物の処理をお任せしております。

12t
日量処理能力



容器に入っているものや袋入りのものを分別

36m³
日量処理能力



缶入飲料やペットボトル飲料を分別

99.6m²
保管面積



保管スペースが大きいので大量に食品廃棄物を保管可能

【第三者意見】

滋賀県立大学 環境科学部 教授

高橋 卓也 様



今回が KINKAN グループ 7 年目の環境（CSR）報告書となります。昨年度の「環境報告書」から今年度の「CSR 報告書」へと、どのような変化があるのでしょうか。報告書各所で強調している「ジグソー・パズル」のように、本業と結びついたかたちで、CSR 活動が見えるようになっているのでしょうか。

ISO14001 環境目的・目標の項目（9～10 ページ）で、環境面での実績が具体的に数値として示されていること、コンプライアンスの項目（6 ページ）で、法令順守の状況がチェックリストとなっていることは、透明性のある環境経営をしているということで、昨年度同様の開示方法ですが、高く評価できると思います。

地域環境、福祉への取り組みなどについては、社員の方のみならず、パートナーとなる団体などからの個々の生の声を顔写真とともに紹介していることも、コミュニケーションを重視する当グループの想いを反映しており、読者にとって読みやすさを増しています。

昨年度同様、質、量ともに、当グループ規模の会社として、例外的に優れた CSR 報告書となっています。KINKAN グループの多面的な環境、社会への配慮の姿が生き生きと描写されていると感じました。

以上のように高く評価できる点がある半面、当グループの狙っているところをよりよく表現することができないかと思う点もありました。

環境面での目標達成ができた場合、できなかった場合に、それぞれふりかえりをし、対策を打っていく、いわば PDCA サイクルの A（行動、是正措置）の部分を見せていただけないか、と感じました。そうすることで、実績数値の意味合いを読者が知ることができるようになるでしょう。具体策を考えることは、報告書の発行タイミングなどの都合で難しいのかもしれませんが、すくなくとも改善へのコミットメント、姿勢、方針を示すことは可能でないでしょうか。

地域環境、自然環境、福祉については、当グループの目指すところをより明確に示すことによって、それぞれの活動が「ジグソー・パズル」のどの部分にあてはまるのか、本業や他の活動とどのようにつながっているのかが、読者にも、さらに、しっかりと伝わるのではないのでしょうか。

さらに、良いことばかりを宣伝し、ネガティブな情報は隠していないのか、といった疑念を持たれないためにも、GRI（グローバル・レポーティング・イニシアティブ；世界的な持続可能性報告書の基準）などを参考に、読みやすさを損なわない範囲で、漏れのない項目となっているか、確認されるのもよいかと思います。

【お問い合わせ】

近畿環境保全株式会社 営業本部

〒520-3114 滋賀県湖南市石部口3丁目6番13号

TEL 0748-77-7288 FAX 0748-77-7299

E-mail: info@kin-kan.co.jp

URL: <http://www.kin-kan.co.jp> 担当：西村 幸佑

KINKAN グループ

【沿革】

- 1962年 創業者の西村裕司が「西村商店」として京都市内で廃棄物回収の事業を始める。
- 1975年 近畿環境保全株式会社を設立。
- 1994年 滋賀県で産業廃棄物中間処理業の許可を取得。破砕機と焼却炉で事業を開始。
- 1998年 中間処理業の許可に品目追加。【廃プラスチックと感染性廃棄物の焼却】
- 2001年 「有限会社新生」を設立。プラスチックリサイクル事業に本格的に乗り出す。
- 2002年 湖南市に「近畿環境保全株式会社 石部リサイクルセンター」を竣工、
2003年より本格的に事業開始。
- 2005年 京都市における一般廃棄物収集運搬業を分社し、有限会社ラゴを設立。
石部リサイクルセンターを別法人に分社化、「株式会社湖南リサイクルセンター」として
現在に至る。この時に子会社の新生も合併。総合リサイクルセンターとして事業拡大。
- 2008年 株式会社きぶらを設立し、5月より廃木材をチップ化しリサイクルする新工場を竣工。
- 2009年 西村忠浩が近畿環境保全株式会社の代表取締役社長に就任。
西村裕司が近畿環境保全株式会社の代表取締役会長に就任。
- 2011年 株式会社きぶらの木材チップ製造施設を株式会社湖南リサイクルセンターに譲渡。
湖南リサイクルセンターにおいて、木くずの破砕施設許可を追加取得。
- 2013年 食品リサイクル施設「F.R.O.Gセンター」を竣工。



【CSR活動のあゆみ】

- 2005年 ISO14001 認証取得
- 2006年 廃植物油の回収・BDFプロジェクト開始
- 2007年 小学校における環境学習の開始／琵琶湖環境ビジネスメッセ参加開始
- 2008年 社内環境ポイント制度開始
カーボンオフセット開始 (内モンゴルにて植林)
- 2009年 環境報告書の第一号を発行／琵琶湖森林づくりパートナー協定
エコキャップ推進運動開始／愛する地球のために約束する協定
滋賀グリーン購入ネットワーク 入会／グリーン電力を3年間利用
- 2010年 ヨシでびわ湖を守るネットワーク参加／循環型社会創造研究所えこらとの協同事業開始
滋賀レイクスターズ支援開始 エコステーションの設置
- 2011年 いしべ共働作業所 障がい者雇用開始
- 2013年 コナン市民共同発電所へ出資
- 2014年 太陽光発電パネル設置
- 2015年 琵琶湖森林づくりパートナー協定 5年間延長



【受賞歴】

- 2011年 第3回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
第2回しが低炭素リーダー賞 受賞
- 2012年 第4回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞



2014年 公益財団法人 全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 CSR²プロジェクト

コンプライアンス部門 受賞 社会貢献部門 受賞

全国産業廃棄物連合会が主体になり、青年部協議会が企画した「CSR²プロジェクト」は、環境保全、社会貢献、ガバナンスと情報開示等、産業廃棄物処理業界にとって非常に重要な活動を推進することによって、企業と社会の持続的な発展を図る活動です。2014年に当グループもエントリーし、ご当地 CSR 活動、コンプライアンス、環境貢献、社会貢献、地域貢献、ステークホルダーと共同実施、びりり、人づくり、啓発の9部門の中、コンプライアンスと社会貢献の2部門で受賞しました。





KINKAN GROUP

近畿環境保全株式会社「一般・産業廃棄物収集運搬・中間処理」
株式会社湖南リサイクルセンター「一般・産業廃棄物中間処理」
株式会社きぶら〔有価物商社〕
有限会社ラゴ〔京都市一般廃棄物収集運搬〕



この冊子は再生紙を使用しております。